

「品川区議会自民党・子ども未来」と「品川・荏原歯科医師会」との 連絡協議会

平成 28 年 9 月 30 日（金）「香港園」にて都歯連盟荏原支部杉原専務理事の司会のもと毎年恒例の連絡協議会が開催されました。

会の目玉となる講演は毎年三者交代で行われ、今年は品川学校歯科医会会長 丸山進一郎先生が「学校歯科医の年間活動とその意義」と題して発表しました。内容は以下です。

- 学校教育法、学校保健安全法などから学校歯科医の法律的な根拠
- 学校歯科医の年間の活動
- むし歯の減少について 12 歳におけるむし歯の罹患率の年次推移（昭和 59 年～平成 25 年）より説明
- 最近の子どもたちの口腔疾病状況としてむし歯の軽減化の一方で生活習慣の変化（就寝時間の深夜化、食生活の乱れ、ストレス）による顕著な歯肉炎もみられることを報告
- CO（要観察歯）GO（要観察歯周疾患）でいずれも生活習慣の見直し、歯磨きにより改善した症例を紹介
- 健診、給食後の歯磨きを写真で紹介
- 学童はむし歯の治療、歯磨きによるむし歯予防、CO、GO など経過観察を行うことで生活習慣も見直す。「歯科は CURE から CARE そして今、CULTURE へ！」と学校歯科医の方向性を示し、また日本の明るい未来を担う子供たちに健康価値観を培う役割であると説明。歯と口の健康づくりは人づくり、「人格の陶冶^{とうや}」であるとも説明

学校歯科医の担う具体的な症例と健診風景を供覧し、歯科医師会の目標の一部を区議会議員の方々にお伝えすることができました。懇親会でも

さらに相互の理解を深めることとなり、有意義な協議会となりました。この会を通じて区議会議員の先生方と親睦を深めることにより歯科業界の現状を知っていただくことが重要であるのではないかと思います。連盟理事として経験の浅い私には区議会議員の方々や荏原歯科医師会の先生方とおはなしもまた非常に勉強になりました。

出席者（敬称略 順不同）

品川区議会自民党

伊藤 昌宏、本多 健信、鈴木 真澄、松澤 利行、渡部 茂、鈴木 博、大沢 真一、沢田 洋和、高橋 伸明

公益社団法人東京都品川歯科医師会

家田 隆弘、塩津 一郎、服部 秀彦、小野寺 哲夫、河森 一賢、高崎 一郎、大木 研一

品川学校歯科医会

丸山 進一郎

東京都品川歯科医師連盟

家田 隆弘、古川 潤一郎、加藤 久直、坂井 秀行、佐藤 隆仁、田中 睦、松井 亮介、野村 良治

公益社団法人東京都荏原歯科医師会

菅野 正博、鈴木 治仁、間淵 豊司、富山 雅浩、新谷 忠、林 聡

東京都荏原学校歯科医会

米山 博巳

東京都歯科医師連盟荏原支部

広田 政司、中山 直人、右田 大三彦、杉原 昌実、伊藤 貴秀、星野 睦代、柿崎 真一、大澤 広晃、大和屋 文彦、米田 豊

（松井 亮介）